

# Spectacle

## 戦略的スペクタクル

- 郊外から考える都市の能動的更新手法 -



東京市郊外で1925年  
まで市域化した範囲

## 01. Prologue

現代は「スペクタクル」つまり、マスメディアの発達とともに資本主義の形態が情報消費社会へと移行し、生活のすべてがメディア上の表象としてしか存在しなくなった状況が、私たちの身の回りを取り巻いている。本提案ではそんなスペクタクルを批評すると共に、ある種の分かりやすさや、消費的な余暇や欲望として捉え、利用しながら設計をすることで、新たな建築や能動的な都市更新の手法を作ることを目的としている。

## 02. Research 郊外における構造的都市課題

利便性の問題  
人口の問題  
東京と郊外の往復運動  
消費と生産の問題

コンテキストや文化の再構築  
居場所の問題  
ジェネリックシティ

機能と集積  
都市のアイデンティティーの問題  
地域特性の補完  
都市機能と多様性の問題

## 03. Strategy 欲望を発散するきっかけをつくる

郊外に潜在的に存在するアクティビティ

欲望（スペクタクル）を利用し、  
空間的可能性を持った場を拠点化する  
建築とシステムを作る

郊外らしさを強調活用することで  
郊外の都市課題を解決する



郊外に存在する潜在的な可能性  
大きなスケール  
自然  
インフラストラクチャー  
都市の残骸  
エッジから始まる  
漂白されたコンテキスト

## 04. Site / Case Study



### ■都市のエッジからはじまる

東京から約 56km  
圏央道という郊外のエッジに囲まれ

東京の引力の及ぶギリギリの位置に存在

神奈川の圏央から先にある  
別の生活圏がそこには存在する



### ■大小様々なアクティビティを空間化

既に郊外にはその自由な空間を  
巧みに使い倒している人々が数多く存在する。

その人々の活動を下地に郊外に  
潜在的に存在するアクティビティを拾い集め

プログラム、システム、建築を構成する。

### ■空間特性：3つの線的ヴォイド

圏央道高架下

河川敷：県道409号（歩行者専用道）

相模川

工

漂

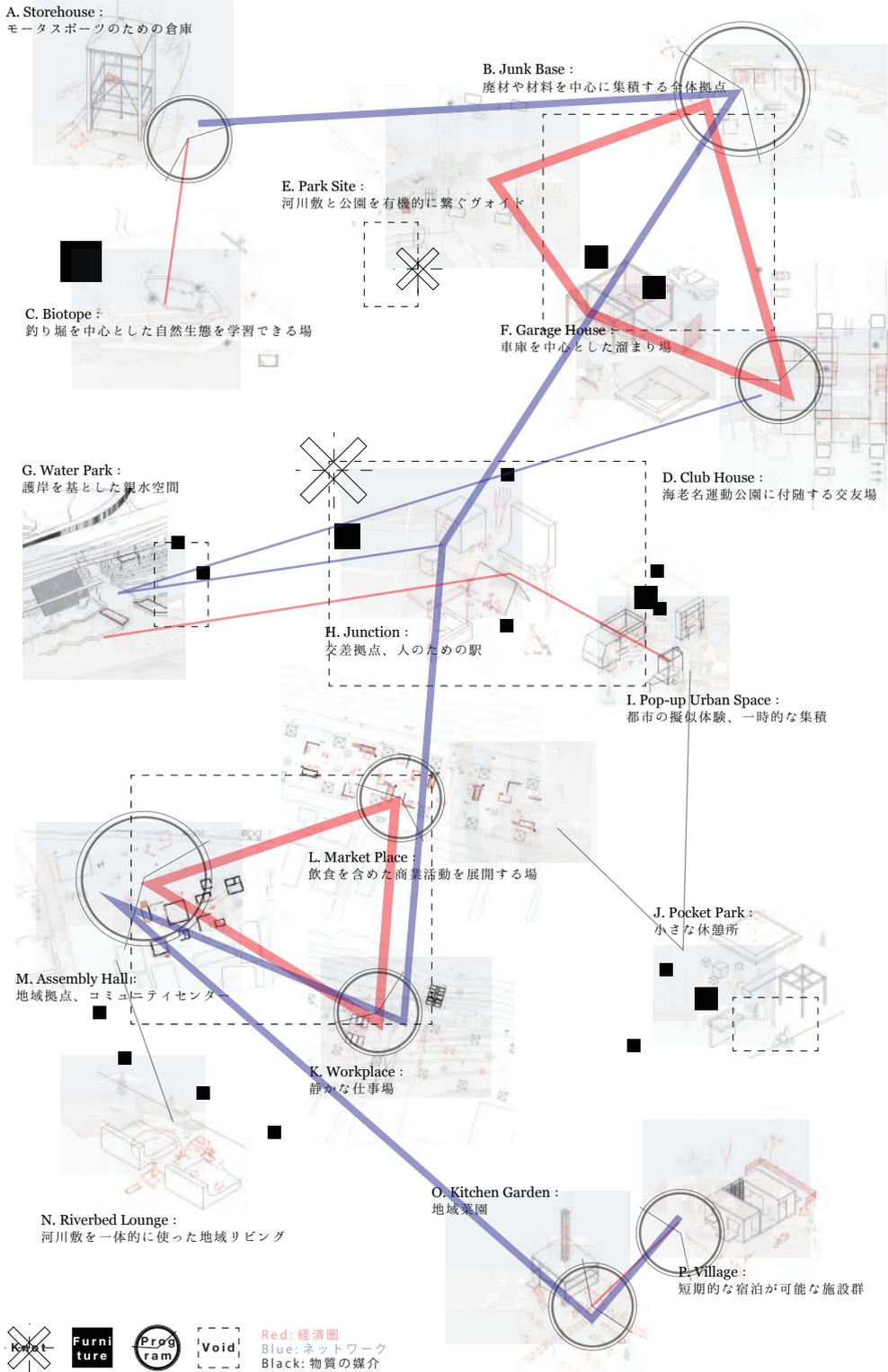
神奈川県海老名市

相模川沿い

圏央道高架下

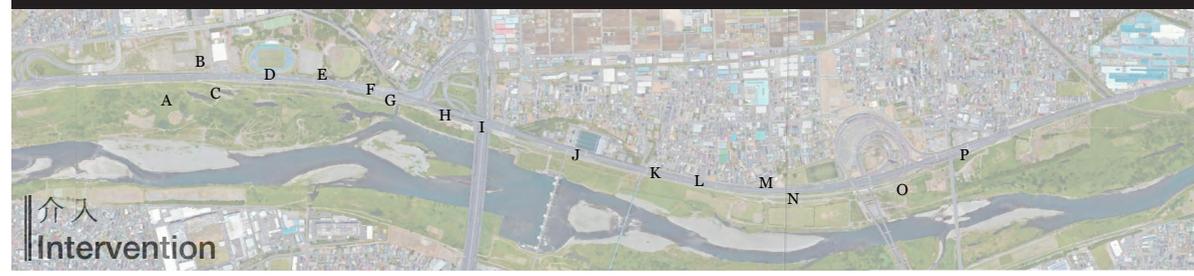
神奈川県道 409号

# Site



# 05. Proposal

プロセス スキーム 建築言語 の統合



## 介入 Intervention

存在するアクティビティに合わせてプログラム全体を設計する  
それぞれのメリットに合わせて諸条件を決定  
使用者の主体性を引き出す基礎設計を行う

プロセス 設計      スキーム      提案      建築言語      基礎

01

海老名市  
NEXCO 中日本  
に対し  
土地利用の方法  
として提案



ワークショップを企画し実際の使用法を考える  
基礎をベースに材料を使い弱いスケルトンを設計する  
実際にワークショップでできたアイデアを元に建築を再設計する

プロセス 企画      スキーム      ワークショップ      建築言語      規格

02

地域住人  
地域企業  
土地所有者と共に  
ワークショップ形式で  
敷地の利用法を考える



活用と共に利用者自身がその場所を変容させる  
コラージュという手法により愛着と自治性を産む  
利用者自身が建築を変容させることによって建築は場所性を帯始める

プロセス 活用      スキーム      コラージュ      建築言語      材

03

実際の利用者  
状況に応じて  
使う人自身が  
持ち寄った材や廃材で  
コラージュして活用する

Void: 空白  
Furniture: 家具  
Program: プログラム  
Red: 経済圏  
Blue: ネットワーク  
Black: 物質の媒介

# 06. Conclusion

A. Storehouse  
モータースポーツのための倉庫  
🏠 🚗

B. Junk Base  
廃材や材料を中心に  
集積する全体拠点  
🗑️ 🏠 🚗

C. Biotope  
釣り堀を中心とした  
自然生態を学習できる場  
🗨️ 🌿

D. Club House  
海老名運動公園に付随する交友場  
🚗 🏠 🌿

E. Park Site  
河川敷と公園を  
有機的に繋ぐグランド  
🌿 🏠

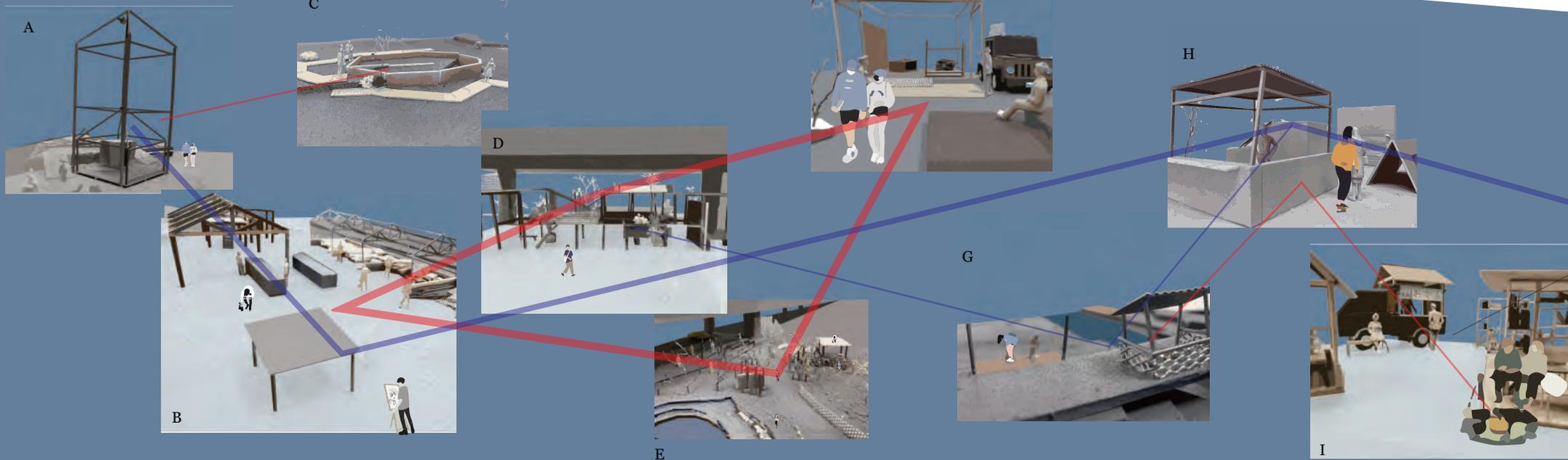
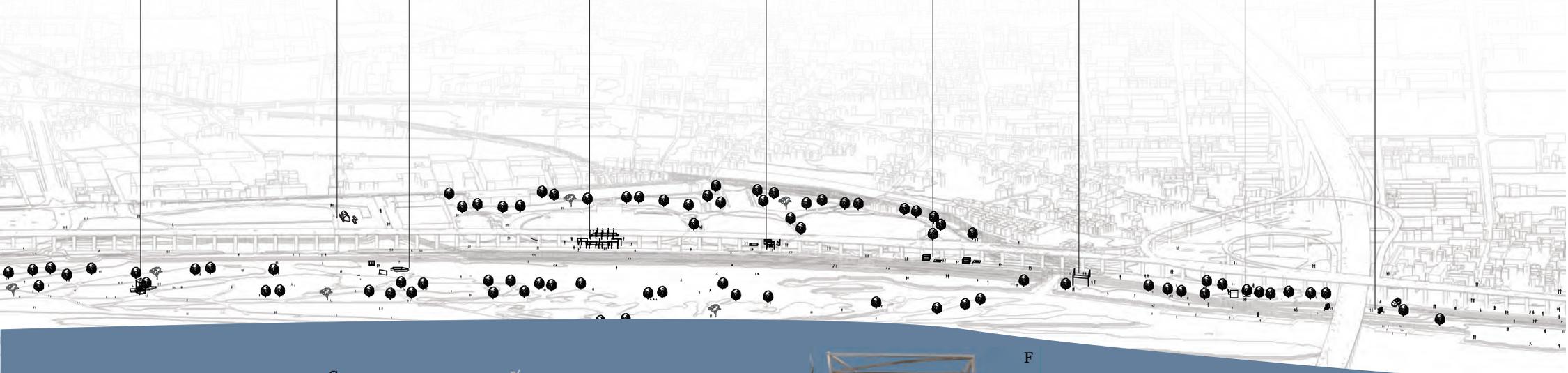
F. Garage House  
車庫を中心とした備まり場  
🗑️ 🏠

G. Water Park  
護岸を基とした親水空間  
🗨️ 🌿

H. Junction  
交差点、人のための駅  
🗑️ 🚗

I. Pop-up Urban Space  
都市の擬似体験、一時的な集積  
🏠 🗨️ 🌿

インフラを横断し、都心の引力から外れた新たな経済圏とネットワークが生まれる



# 06. Conclusion

J. Pocket Park  
小さな休憩所



K. Workplace  
静かな仕事場



L. Market Place  
飲食を含めた  
商業活動を展開する場



M. Assembly Hall  
地域拠点、コミュニティセンター



N. Riverbed Lounge  
河川敷を一体的に使った地域リビング



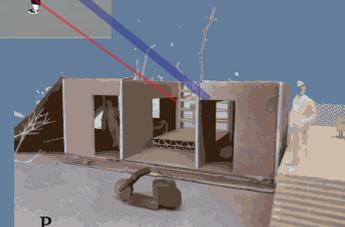
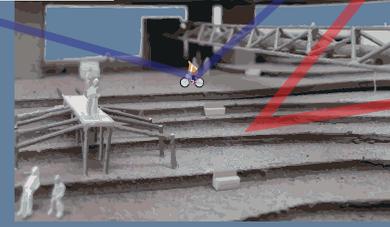
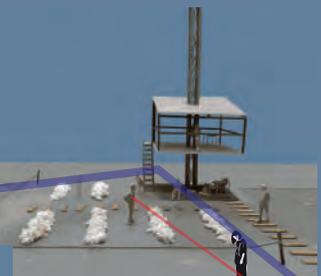
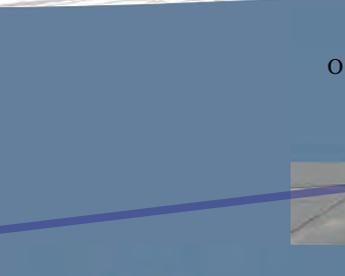
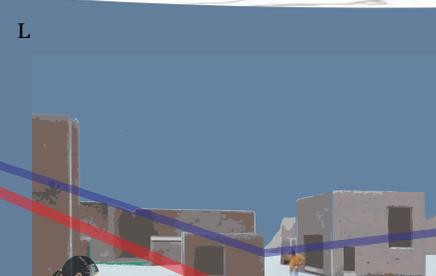
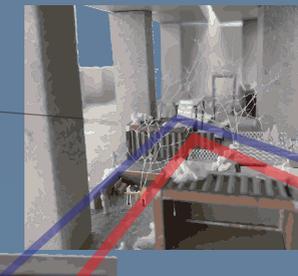
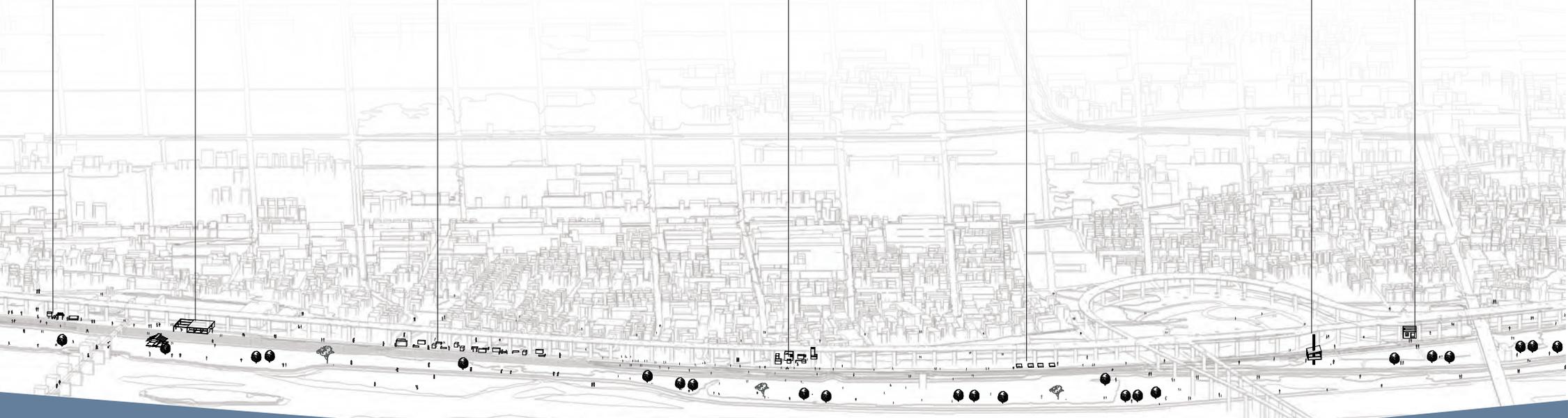
O. Kitchen Garden  
地域菜園



P. Village  
短期的な宿泊が可能な施設群



都市でも農村でもない、壮大な都市体験を人々は享受することができる



K

N

P